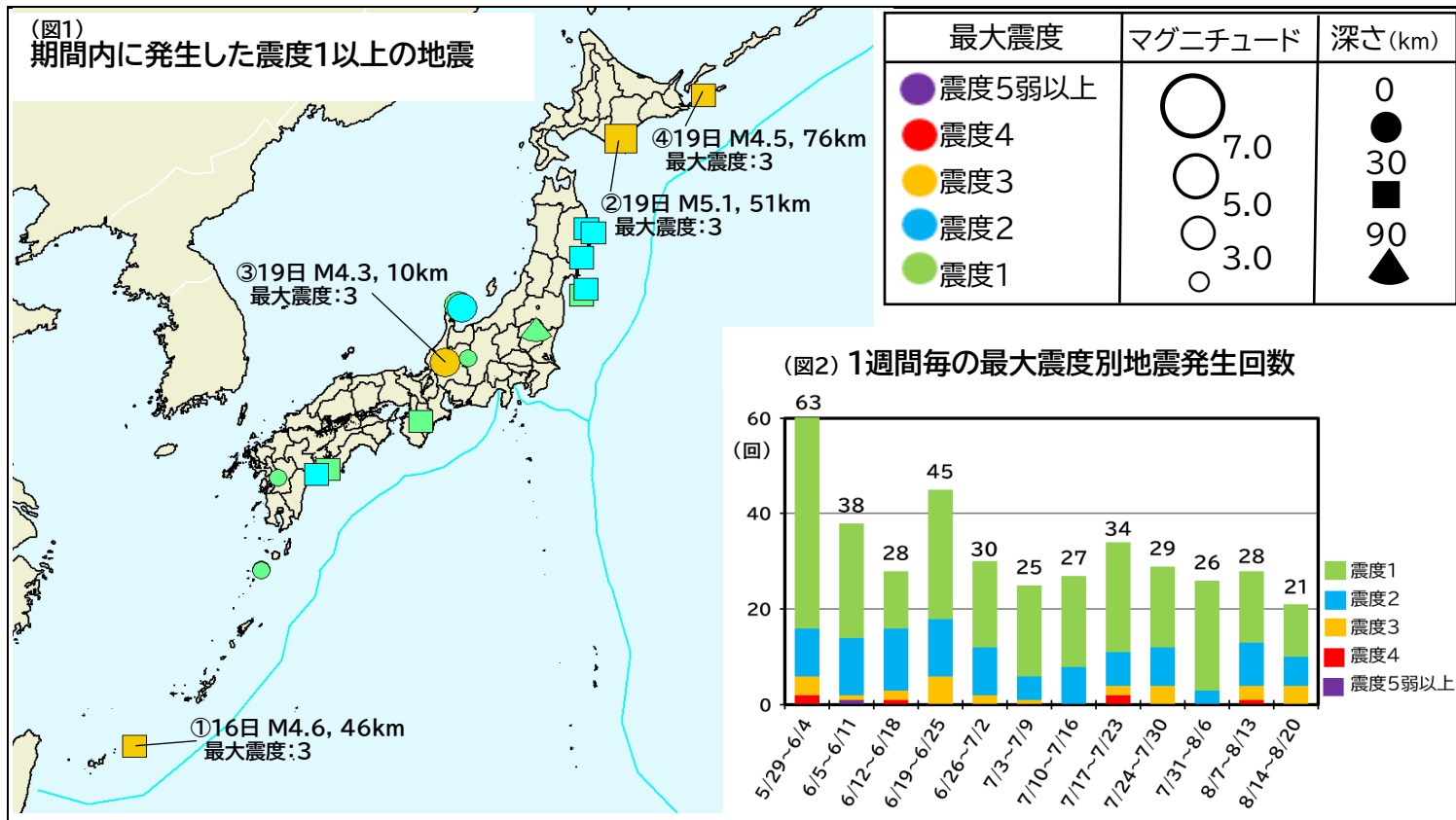


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1, 図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が21回発生。最大震度は3。 ■
- ① 8月16日02時07分に宮古島近海で発生した地震(M4.6、深さ46km)により、沖縄県宮古島市で震度3、多良間村で震度1を観測(トピックス参照)。
- ② 8月19日03時33分に十勝地方南部で発生した地震(M5.1、深さ51km)により、北海道新冠町・新ひだか町・浦河町・様似町・幕別町・池田町・浦幌町・更別村・大樹町で震度3を観測したほか、北海道から岩手県にかけて震度2~1を観測。
- ③ 8月19日14時07分に福井県嶺北で発生した地震(M4.3、深さ10km)により、福井県大野市・勝山市および岐阜県高山市で震度3を観測したほか、北陸地方、中部地方、近畿地方で震度2~1を観測。
- ④ 8月19日23時21分に国後島付近で発生した地震(M4.5、深さ76km)により、北海道根室市で震度3を観測したほか、北海道東部で震度2~1を観測。

トピックス

- 宮古島近海で繰り返し発生している地震 ■
- ・16日に宮古島近海で発生した地震(M4.6、深さ46km)は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した地震と考えられます(図3)。
- ・16日の震源付近では、発生場所やマグニチュードが、ほぼ同じで、かつ、一定間隔で繰り返し発生している地震活動がみられます(図4)。このような現象は「繰り返し地震」と呼ばれています。
- ・宮古島近海の繰り返し地震のうち、16日の地震と同じようなM4.6程度の地震は、おおよそ2~3年間隔で発生しています(図3、図4、図5の赤丸で示した地震)。
- ・繰り返し地震の発生場所付近では、フィリピン海プレートが陸のプレートの下に沈み込んでおり、プレートの境界面が一定期間固着してエネルギーを溜め込んだ後に、急激なすべりを起こして地震としてエネルギーを解放することを繰り返しているために、このような現象が発生すると考えられています。
- ・このような場所では、同じようなマグニチュードの地震が一定の時間間隔で発生していることから、次に発生する地震の発生時期を予測する試みも行われています。

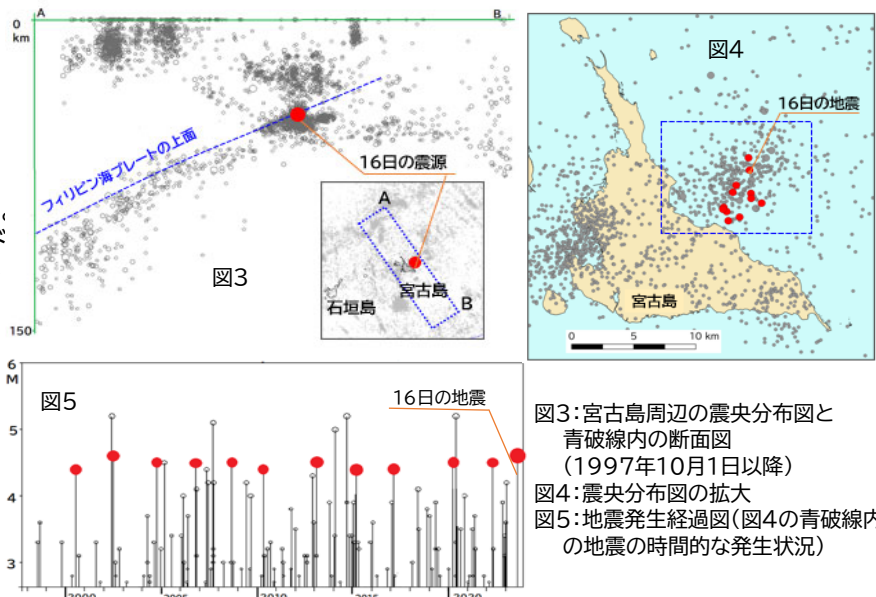


図3: 宮古島周辺の震央分布図と青破線内の断面図 (1997年10月1日以降)
図4: 震央分布図の拡大
図5: 地震発生経過図(図4の青破線内の地震の時間的な発生状況)